

地質ニュース

第597号 2004年5月

口 絵

- M4.6地震の震源(南アフリカ Matjhabeng 金鉱山) 小笠原 宏・1
M2級地震の震源と応力集中(南アフリカ Tau Tona 金鉱山)
..... 小笠原 宏・佐藤 隆司・3
高温高压実験による地震発生の素過程の解明
..... 増田 幸治・新井 崇史・高橋 美紀・重松 紀生・5
地質調査に使える登攀技術紹介 長森 英明・古川 竜太・6
有珠火山地域高分解能空中磁気異常図の刊行について 大熊 茂雄・7
三松正夫記念館 三松 三朗・8

特集：地震発生メカニズムの研究 -地質情報研究部門における地震研究(2)


- 内陸活断層応力場の新しい評価手法の確立に向けて 桑原 保人・10
内陸の地震発生域を見る-断層深部の物質科学-
..... 藤本光一郎・重松 紀生・大谷 具幸・17
高温高压実験による地震発生の素過程の解明
..... 増田 幸治・新井 崇史・高橋 美紀・重松 紀生・21
岩石破壊と地震 -地震素過程の解明における室内岩石破壊実験の役割-
..... 雷 興林・佐藤 隆司・26

- 登攀技術講習による地質調査の安全対策 長森 英明・37
有珠火山地域高分解能空中磁気異常図の刊行について 大熊 茂雄・47
火山誕生を見守り続けた郵便局長 三松正夫記念館 三松 三朗・52
石の俗称 みちのく石便り(その2) 加藤 碩一・60

- 地質調査総合センター研究組織の再編について 46
地質標本館だより No.69 68
編集後記 71

表 紙

南アフリカTau Tona金鉱山深度3kmにあらわれた震源断層：2003年3月に南アフリカTau Tona金鉱山の深度約3kmにおいてM2.5の地震が発生した。震源は筆者も参加している「南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ」の研究ターゲットのひとつであるKen's断層であり、地震の約2ヵ月後の5月に現場を訪れることができた。写真は高さ1mほどの採掘域内にあらわれた断層変位で、天井の右半分がずり下がり、抗木の頂部が破損しているのが分かる。詳しくは口絵(小笠原・佐藤)参照。(写真と文：佐藤隆司)

 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3569

<http://www.gsj.jp/>